

「バイオリギング研究で見えてきたウミガメと海洋ゴミの関係」 第37回環境アセスメント学会生態系研究部会定例会

海洋生物による海洋ゴミの誤飲は、年々大きな問題となりつつあります。一方で、海洋ゴミの誤飲による影響の度合いが、種間や地域間で異なる可能性については、あまり議論されてきませんでした。

本定例会では、東京農工大学農学研究院の福岡 日本学術振興会特別研究員をお招きし、「バイオリギング研究で見えてきたウミガメと海洋ごみの関係」と題して、海洋ゴミを特に多く誤飲するウミガメ類を対象として、海洋ゴミの誤飲量が種間や地域間で異なる要因を、“ウミガメの目線”で明らかにすることを旨とした研究について概説して頂きますので、奮ってご参加ください。

■テーマ・話題提供者：

「バイオリギング研究で見えてきたウミガメと海洋ごみの関係」

東京農工大学農学研究院 福岡 拓也 日本学術振興会特別研究員

■コーディネータ：環境アセスメント学会生態系研究部会幹事

北村 徹（日本エヌ・ユー・エス株式会社）

■日 時：令和4年12月20日（火）17:30～19:00（17:00より入室可能）

■参加費：無料

■会議方式：ZoomによるWEB配信

■主 催：環境アセスメント学会生態系研究部会

共 催：東京都市大学ランドスケープエコシステムズ研究室

■参 加 申 込：

件名に「第37回JSIA生態系研究部会定例会参加希望」と記載し、お名前、ご所属、環境アセスメント学会会員（会員種別）、連絡先メールアドレス、連絡先電話番号をご記入頂き、以下の担当者宛にメールにてお申込みください。メールを受領し次第、ZOOM会議参加アドレス等を御送り致します。

・メール送付先：環境アセスメント学会生態系研究部会幹事
北村 徹（日本エヌ・ユー・エス株式会社）

・メール送付先：tkitamura@janus.co.jp

■参加申込締切：令和4年12月19日（月）17:00（申込多数の場合は先着順での受付とさせていただきます）

以上